

北区近代化産業遺産 × 謎解き

問1 ほら！ **ここ**は飛鳥山公園だ。

「・山頂駅」として**さ**れた看板**を**見つけたが、順番に**読**もう。

③ ② ○ ○ — ④ ① — ○

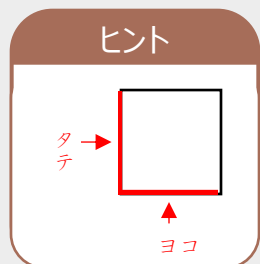
答え

F

A

問2 その**足**で、多目的広場**に**移動した。

指示にしたがい、**か**が**み**を置いて解いて**み**よう。



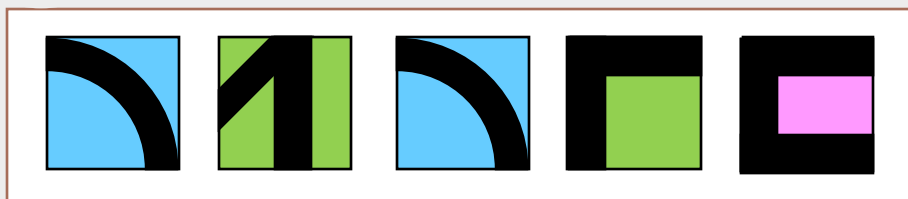
ならタテに、



ならヨコに、



ならタテとヨコに

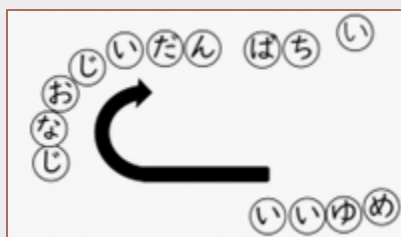


答え

B

D

問3 私達**は**児童エリアに到着**し**た。**お**なじ**色**の文字を拾い、ち**ょう**ど**マ**スに**い**れて**み**よう。



答え

G

E

C

最終問題 問1から問3まで解き、アルファベットの**順**に**読**めば、最終解答に！

A B C D E F G

→最終解答

北区の産業遺産(北区近代化産業遺産群と重要文化財)

※2007(平成19)年、経済産業省「近代化産業遺産群33」の1つのストーリーとして、北区王子の施設等が近代化産業遺産に認定されています。



渋沢史料館(晩香廬/青淵文庫)

かつて渋沢栄一が住んでいた王子飛鳥山の旧渋沢邸跡に建ち、渋沢栄一の生涯と事績に関する資料を収蔵・展示しています。



紙の博物館

和紙・洋紙の両面から、紙の歴史・文化・産業を紹介する、世界でも数少ない紙専門の博物館。製造工程、種類や用途、様々な紙製品の展示のほか、紙の関連書籍も図書館で一般公開しています。



東書文庫

1936(昭和11)年に開館した日本初の教科書図書館。鎌倉時代から現在に至るまでおよそ16万点を所蔵。そのうち76,420点は国の重要文化財に指定。アール・デコ様式の建物にも注目です。



国立印刷局王子工場(お札と切手の博物館)

現在は印刷工場として、切手などの製造を行っています。隣接する「お札と切手の博物館」では、お札や切手の歴史や偽造防止技術などの解説をしています。



国立印刷局東京工場(旧滝野川工場)

国民経済に不可欠な日本銀行券(昭和6年操業開始)をはじめ、現在は政府情報の公的な伝達手段である官報などの製造や情報サービス提供を行っています。WEBサイトから、VRでオンライン工場見学が体験できます。



赤煉瓦酒造工場(旧醸造試験所第一工場)

1904(明治37)年、国による醸造技術の研究・発展を目指して設立。明治を代表する建築家・妻木頼黄(つまきよりなか)が設計した建築物で、明治の貴重な産業遺産として国の重要文化財に指定されました。

参加費

無料

主催

東京都北区

会場

飛鳥山公園

〒114-0002

東京都北区王子1丁目1-3

協力ほか

公益財団法人 渋沢栄一記念財団/公益財団法人 紙の博物館/独立行政法人 国立印刷局(王子工場・東京工場)/お札と切手の博物館/東書文庫/正解は「はっしょう(発祥)」/公益財団法人 日本醸造協会/矢野龍王(新一万円札発行カウントダウンプロジェクト)区民アイデア事業提案コース優秀賞受賞)

MAP



2025年3月29日(土)～2025年5月11日(日)までにアンケートにお答えいただいた方の中で、抽選で10名様に北区の粗品をプレゼント

アンケートはこちら



問い合わせ先

北区産業振興課産業振興係(観光振興担当) TEL:03-5390-1234(受付:9時～17時※平日のみ)